

ご関係の皆様には大変お世話になっております。
工事の現況などについてお知らせいたしますので
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

発行元：鹿島・東亜特定建設工事共同企業体
気仙沼湾横断橋小々汐JV工事事務所
TEL:0226-25-5661 FAX:0226-24-3341



現場見学をご希望の方は上記連絡先までご連絡下さい。(担当：小室)

工事現況

鋼管矢板打設工が始まりました

平成27年9月17日、鋼管矢板打設に使用する自動昇降式台船（SEP台船*）「星都II」が工事区域に入船しました。この台船には200t吊クローラクレーンが搭載されており、このクレーンで下杭をバイプロハンマ工法、上杭を中堀圧入工法（カプセルハウパイラ工法）により鋼管矢板を打設します。

9月28日には鋼管矢板打設工の安全祈願を行って台船やクレーンなどを清めて無事故・無災害を祈念し、この日から昼夜施工を開始しました。いよいよ本格的な海上工事に入りますが、引き続き安全最優先で施工して参りますので、ご理解・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。
※SEP=Self Elevating Platformの略称です。



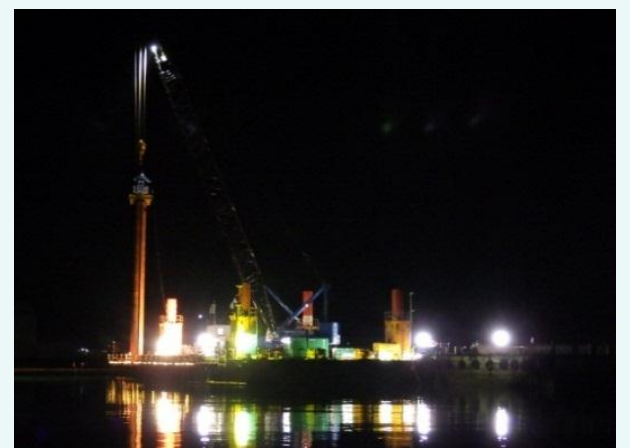
鋼管矢板打設工安全祈願



鋼管矢板打設状況（SEP台船上から）



鋼管矢板打設状況（昼間）



鋼管矢板打設状況（夜間）

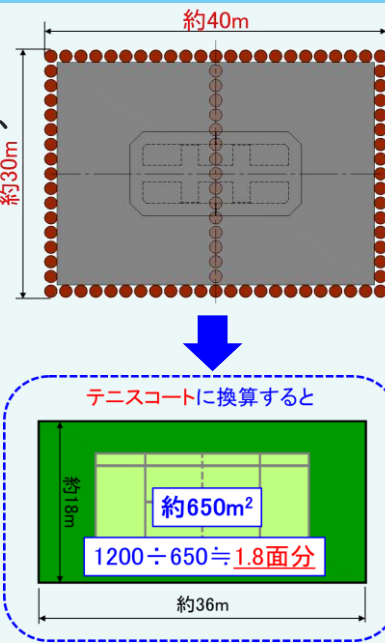
コラム

～鋼管矢板井筒基礎～

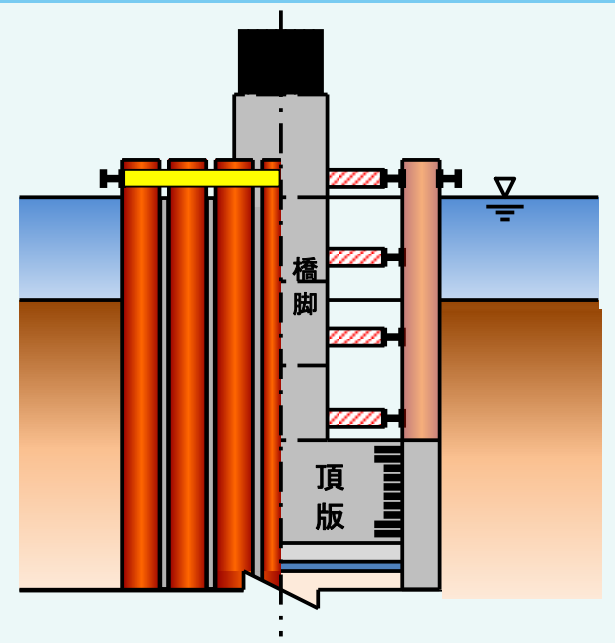
本工事で採用されている「鋼管矢板井筒基礎」とは、海や川の中に橋脚を作る際によく用いられる基礎形式の一つです。

鋼管矢板を右図①平面図（上部）のように、平面的に丸や四角の形状に打ち込んでいきます。打ち込まれた鋼管矢板は水面まで立上げて遮水壁とし、囲った中で掘削や構造物の構築を行います。更にこの鋼管は支持地盤まで打ち込んでおりますので最終的な杭基礎としても利用します。

本工事で打設する基礎は縦30m×横40mに及び、その大きさはテニスコート約2面分に相当します。



①平面図



②断面図

工事の予定

作業内容	平成27年	
	10月	11月
鋼管矢板打設工（昼夜作業）		
導材工	外周部	
下杭打設		外周部
現場円周溶接、上杭打設	隔壁部	
鋼管内掘削土揚土	隔壁部	
鋼管矢板搬入（鹿島港～気仙沼港）		第3船 第4船 第5船
備考		

トピック

JV事務所・宿舎が完成しました

ご近隣の皆様のお蔭をもちまして、6月中旬より建方を開始しておりましたJV事務所が7月下旬に完成し、お盆明けより本格的に業務を開始致しました。併せて職員宿舎、協力会社宿舎も9月中旬に完成し、9月下旬より使用を開始しております。



JV事務所（小々汐）



宿舎（切通）